



成田山の節分祭

2月3日、成田山不動尊で節分祭が行われ、参拜者に「福豆」が配られました。
新型コロナウイルス感染対策で、特設舞台で行う恒例の豆まきを昨年に続いて中止。代わりに「新型コロナ 終息祈願」と書かれた2万袋の福豆を用意し、白い手袋とマスク姿の巫女（みこ）が透明なビニール越しに無料で配布しました。本堂で僧侶と年男が豆をまく「追儺式（ついなしき）大護摩供」は例年どおり行われました。



ヘルシーなメニューで金賞！

府の「ヘルシーテイクアウト2021コンテスト」で市内の「Natural and dining わしん」が金賞を受賞しました。
募集条件は「テイクアウトやデリバリーができる野菜たっぷりのランチメニュー」。同店の「農園野菜たっぷり彩りランチボックス」がインターネットの人気投票などの結果で見事金賞に輝きました。オーナーの田辺誠さんは「農家さんやお客さんなど、私以外にも多くの方の思いがこもった料理が評価されて、本当にうれしいです」と喜びを語りました。



17年のマゲ生活に別れを告げる

市出身の元大関・豪栄道

市出身力士としてふるさと大使を務め、市初の市民栄誉賞を受賞した武隈親方（元大関・豪栄道）の断髪式が1月29日に東京の両国国技館で行われました。武隈親方は令和2年1月に現役を引退しましたが、断髪式はコロナ禍で2度延期されていました。
2月1日付けで武隈親方は境川部屋から独立。「武隈部屋」の新設が承認され、新たなスタートを切りました。武隈部屋には市出身の幕下西川氏も所属しています。
大阪府出身力士として86年ぶりの優勝を全勝で飾るなど、市民に多くの感動を与えてくれた武隈親方の今後の活躍を市民一同応援しています。

災害時応援協定を締結



NPO法人 寝屋川市地域防災応援団

災害時に人材や車両、重機の調達や傷病者の搬送、宿泊場所の提供など幅広い分野での一元的な応援



株式会社 ほっかほっか亭総本部

災害時に市内で物資の調達が必要になった場合に、作りたての弁当などを避難所などに運搬



フラグシップス株式会社

災害時に無人航空機（ドローン）で迅速な被害状況の把握や被災者を捜索



市美協展で57人の【寄せ絵】披露

1月28日～2月2日、寝屋川市美術協会展が市立市民ギャラリーで開かれ、57人の全会員で描いた【寄せ絵】が展示されました。
コロナ禍で皆の励みになればと付けた作品名は「がんばろう寝屋川」。寝屋川せせらぎ公園を撮った写真を294のブロックに分割。それぞれ割り当てられたブロックを各会員が7.5cm四方の色紙に描き、つなぎ合わせて100号の大作に仕上げました。同協会の倉内崇之会長と伊郷武治副会長は「コロナ禍で家でもできる寄せ絵を企画。作品を通して絆や希望を感じてもらえればうれしい」と話しました。



文部科学大臣表彰を受賞

「家庭教育サポートチーム」の取り組みが「令和3年度『家庭教育支援チーム』の活動の推進に係る文部科学大臣表彰」を受賞しました。
「家庭教育サポートチーム」は、市立小学校24校に各1人配置されたサポーターが児童の登校支援や家庭訪問などを行い、保護者の悩みを軽減することなどを目的に活動しています。サポーターの眞鍋さん＝写真中央＝は「24人のサポーター、みんなの活動がこの日につながったのだと、とてもうれしく思います」と話しました。